

みしま

早戸地区 虫供養

写真／早戸地区で11月10日に行われた虫供養。

参加者は虫の命に感謝し霊を弔いました。

関連記事 17 ページ

2011
12

広報みしま No. 225

2011

2001

特集

時を超えて想い伝わる

「未来への手紙」

新世紀を迎えたばかりの2001年、352通の手紙がしたためられ、タイムカプセルに入れられました。未来の自分や、娘や息子などの家族にあてられた手紙は、差出人それぞれの10年越しの想いを込めて、宛先の住所へ届けられました。

今から10年前の2001年、タイムカプセルに352通の手紙が入れられました。21世紀初頭の文化祭の記念行事として実施された「未来への手紙」。未来の自分や友人・子どもなどにあて、夢や希望を託された手紙が10年後の今年、届けられました。

2001年、アメリカで同時多発テロが発生し、世界中が大きく混乱した年でもあります。町では道の駅尾瀬街道みしま宿の建設が進められている時でした。10年間は過ぎてしまえばあつという間ですが、その間の一年一年、また一日一日には、それぞれの方に数多くの出来事があったはず

です。めまぐるしく流れる日々の生活で、「未来への手紙」は10年前の自分を振り返る機会になったのではないのでしょうか。

10年の間に情報化社会はますます進歩し、瞬時に世界中の人とコミュニケーションが図れるようになりました。町でも平成21年に光ファイバーケーブルを敷設しました。今年度中にはテレビ電話が全世帯に設置され、顔を見ながら通話出来るようになります。また、携帯電話は今や無くてはならないものになりました。手紙に代わり、携帯電話でメールが出来るようになり、紙もペンも切手も使わずに一瞬でメッセージを相手に届けられます。

「未来への手紙」の宛先は、10年後の自分や、10年後の家族だったり、それぞれ違うとしても、未来の自分自身や家族の事を大切に想う、差出人の気持ちが詰まった贈り物となったようです。

いくら便利な世の中になっても、生の筆跡に伝わる想いは、メールには無い特別な力があつたようです。



文化祭の発送セレモニーで、二瓶隆司町長から郵便局員の方に手紙が手渡された

10年前の姉から
10年後の妹へ

姉 **半澤 里奈** さん (写真下) (名入)
妹 **綾乃** さん (写真右)



手紙は10年前のお姉ちゃんから私達、兄妹宛てに書かれたものでした。受け取ってびっくりしました。当時私は3歳。お姉ちゃんは9歳で小学3年生です。手紙には「スポーツは頑張っていますか」とか「電気自動車は走っていますか」とか、そして「今の三島は素敵な町ですが、10年後の三島も良いところですか」ということが書かれていました。小学生だったお姉ちゃんが、自分たちの事を想って手紙を書いてくれたと思うと、嬉しかったです。当の本人は手紙の事をすっかり忘れていたようですが、今年から家を離れ、一人暮らしを始めたお姉ちゃん。お正月に家に帰ってきた時には「手紙ありがとう」って言っています。

10年後の旦那さんへ

10年後の奥さんへ

小平 兼嗣 さん (西方)
佳子 さん



兼嗣さん
手紙を書いた当時、二人で金婚式を迎えるのを目標にしていた。手紙にもそんな事が書かれていました。そして今年結婚して50年。目標だった金婚式を二人で迎えることができました。「よく50年も一緒に居られたなあ」なんて二人で話しています。嬉しい悲鳴です。もう結構歳をとりましたが、今後も二人で元気に生きていきたい。これからはもう言いたい事を言い合える仲でいたいです。

佳子さん
手紙を受け取り、10年前は二人で金婚式を迎えることを期待して筆を走らせた事を思い出しました。10年という年月は過ぎてしまえばあっという間でしたが、いろんな事がありました。今は二人で金婚式を迎えられてよかったです。子ども達からも祝ってもらいました。これからは健康で一日一日を大事に生きていきたいです。(兼嗣さんに)頼る事が多くなったので、毎日感謝の気持ちを忘れずにいたい。

10年後の〇〇さんへ

10年後のわたしへ

栗城 清子さん (宮下)



10年前に書いた手紙の事はすっかり忘れていました。家に手紙が届いて、そういえば自分に書いたっけ!と思いい出しました。手紙では家族の事や、趣味の事などが書かれていました。読んでいるうちに、10年前に考えていた事を思い出し、懐かしくて、嬉しくて、あったかい気持ちになりました。自分の周りの環境は10年間でいろいろと変わりました。子ども達が結婚して孫ができたことが大きな変化です。10年後の今、書いてよかったなあと思います。これから先の10年は夫婦と友達がみんな元気で、温泉旅行に行き続けたいです。

10年後のわたしへ

二瓶 健嗣さん (名入)



当時は中学生でした。野球に打ちこんでいて、中学の部活は引退しましたが、高校で甲子園を目指そうと目標に向かって頑張っていました。手紙を書いたことは何となく覚えています。野球の事と、じいちゃんとかあちゃんの事が書かれていました。当時から、じいちゃんばあちゃん子だったようです。今年で25歳、去年の10月には結婚をしました。10年後の自分には家族を大切に元気でやって欲しいと伝えたいですね。そしてじいちゃんとかあちゃんにも元気でいて欲しいです。手紙を書いて良かったです。良い記念になりました。

10年前の母から 10年後のわたしへ

小松 瑛司 さん (西方)



母親からの手紙の中身は、母が当時見ていた自分の様子や「10年後の自分がどうなっていますか」という質問でした。手紙を読んでいると「こんなことしたなあ」と、懐かしく感じました。当時は中学3年です。「若かったなあ、そして今よりだいぶ体が軽かった」と感じます。手紙で母が想像して書いていた自分とはだいぶ違っていますが、これからの10年で近づいていきたいですね。そうすれば、少しは母を安心させてあげられるんじゃないかな。手紙をもらって良かったです。母には「いつもありがとう。これからもよろしくお願いします」と言いたいです。

10年後の息子へ

「家族と周りの人を大切にして欲しい」
そんな親の気持ちを伝えたかったのかな

五十嵐 純子 さん（大登）



10年前に手紙を書いたことは覚えていました。細かい内容までは覚えていませんでしたが、10年後の息子に向けて「一人では生きていけないのだから、家族や周りの人は大切にして欲しい」とか「元気でいて欲しい」といった親の想いを書いたと思います。家族は10年前と変わらずみんな元気で安心しています。10年後は孫に囲まれ、畑に花でも植えていたいなあ。息子は手紙について特に何も言ってくれませんが、書いてよかったと思います。こういう企画良いですね。また書いてみたいと思います。それから今度は子ども達から受け取りたいですね。



照れくさくて直接言えないけど
「ありがとう。嬉しかったです」

五十嵐 淳 さん（宮下）



こんな手紙が書かれていたなんて…手紙を受け取ったときは「えっ」って思いました。差出人の下に書かれている日付は平成13年だし。読んでみてようやく理解しました。以前、たまに母から手紙をもらう事はありませんでしたが、今回の手紙は全く違うものだったように思います。手紙は「家族を大切にしてくね」という内容でした。

ちょうど昨年結婚して家族ができたので、本当に絶妙なタイミングです。手紙に書いてあるように、家族を大切にしていきたい。思いがけず受け取った手紙も大切にとっておきます。

照れくさくて母には直接お礼を言ってもいい。でも、読んでいってよかった。この場を借りて…「お母さん、手紙ありがとう。嬉しかったです」

●編集を終えて
今回手紙を受け取った方々から「書いて良かった」「もらって嬉しかった」「こういう企画があったらまた書きたい」という声がたくさん聞かれました。

便利な社会になり、手紙の他にも手段が色々ある中で、時間をかけて書かれた手紙の言葉だからこそ、より心に響くのではないのでしょうか。自分自身から手紙を受け取った人は「10年前の自分は、こんなことを考えていたんだ」と懐かしい気持ちになったことでしょうか。家族や友人から受け取った人は、口には出さなくても、10年の時を超えて文字で届いた想いを感じたことでしょうか。

書いた人も、もらった人も、恥ずかしいような照れくさいような、でも幸せな気持ちになった「未来への手紙」。携帯メールも良いですが、たまにはペンをとってみませんか。

特集「時を超えて想い伝わる」
終わり

放射線モニタを貸し出します

個人への貸し出しは
区長へお申込みを

町では、空間放射線量を測定する機械「環境放射線モニタ」を貸し出ししています。

「環境放射線モニタ」は一部地域を除き、各地区の区長を窓口として個人に貸し出します。ご希望の方は区長にお申し出ください（小山区の方は役場へお申し出ください）。貸し出し期間は原則として1日です。

なお「環境放射線モニタ」で計測した結果や、その他空間放射線についての不安や疑問等は、役場町民課で相談を受け付けています。

☎（48）5555

「環境放射線モニタ」



検出器

表示画面

電源ボタン

※使用上の注意

機械のビニールはがさないでください。
泥や汚れが付着したら、ふき取ってから測定して下さい。

使用方法

①電源ボタンを押す

②測定する

- ・電源を入れてから 35 秒後に測定値が表示されます
- ・正確な測定値を図るためには電源を入れてから 60 秒以上経ってから表示された値を計測して下さい。
- ・表示は 10 秒ごとに更新されます
- ・身の回りにある物を計測するときは検出器の＋マークを対象物の上に来るように近づけて測定して下さい。

③電源ボタンを押し電源を切る



二瓶町長に寄附を手渡す商工会女性部の皆さん

これからも町に協力します 商工会女性部が文化祭バザーの売上を寄附

商工会女性部は11月3日の文化祭でバザーを実施し、売り上げの一部を町に寄付しました。その残りは商工会青年部が実施しているサンタクロース作戦に寄附されます。女性部の方々は24日に町長室を訪れ、二瓶隆司町長に寄附を手渡しました。女性部の板橋久枝さんは「町の母ちゃんたちが元気であればいいですね。これからも元気で町に協力していきます」と話しました。



大谷活性化センターはお客さんで満員

こだわりの新そば 大盛況で完売 おおたに新そばまつり

おおたに新そばまつりは11月13日、大谷活性化センターで行われ、大勢の来客で賑わいました。午前と午後の部でそれぞれ100枚ずつ用意された前売券は完売。今年の新そばを味わおうと足を運んだ方々で、周辺の道路には多くの車が並びました。来場者の方々からは「とてもおいしいです」という感想が聞かれました。



二瓶町長に目録を手渡す東北電力の馬場壽恵福島支店長

東北電力が500万円を町に寄附 豪雨災害の義援金として

東北電力株式会社は新潟・福島豪雨災害の義援金として、三島町に500万円を送りました。同社の馬場壽恵福島支店長が11月7日、役場を訪れ、二瓶隆司町長に目録を手渡しました。また同社では甚大な被害のあった金山町、只見町などにも義援金を送りました。馬場支店長は「豪雨で被災された地域の一刻も早い復旧を願っております」と話しました。



教わりながら作った郷土料理を食べる学生のみなさん

郷土料理おいしく作れました！ 昭和女子大4年生が郷土料理体験

昭和女子大学生生活科学部の4年生約40人が11月18日、森の校舎カタクリで郷土料理を体験しました。昭和女子大では10年ほど前から毎年三島を訪れており、今回はカタクリの会の皆さんから、ひし巻きや、こづゆなどを学びました。クラスリーダーの小川夏代さんは「家でも作ってみたい。それにカタクリのお母さん達の手際の良さも学んで帰りたい」と話しました。



大石田地区で行われた水芭蕉の植栽

水芭蕉で美しい景観づくり 大石田地区で苗を植栽

大石田地区の「水芭蕉の会」は11月13日、水芭蕉の苗70株を植えました。同会が苗を購入して実施したもので、今後は繁殖した水芭蕉を集落内や美坂高原へ向かう道沿いなどに植える計画です。今回植えた苗は、来年5月ごろに花を咲かせます。同会では今後、桜やつつじなどの植栽も検討し、大石田の美しい景観づくりを目指しています。



講師からの説明を聞く参加者

毎日のお弁当作りの手助けに 第2回お弁当教室

第2回お弁当教室は11月9日に町民センターで行われ、約20人が参加しました。管理栄養士の方を講師に招き、子どもたちの発達や発育の説明を聞きました。お母さん方が抱えていたお弁当作りや食に関する問題、悩みに対してアドバイスをもらいました。お弁当教室は今後も開催されます。今後の予定は学校からの配布資料でお知らせしますので、ぜひご参加ください。



「絵本とお話の会」の方と一緒に遊びました

絵本とお話で子どもと触れ合う ワンダークラブで「お話」を聞く

保育所に入所前の子どもたちが毎月活動するワンダークラブは11月17日に行われ、「絵本とお話の会」の方々が子どもたちにお話をしました。その後手遊びをしたり、エプロンシアターなどで遊びました。お話の会の方々と付添の方とも交流ができました。次の活動は12月14日にクリスマスのグッズを作る予定です。参加希望は町教育委員会☎ (48) 5599まで。



東北電力社員から説明を聞く参加者

7月末の豪雨時のダム操作について 東北電力が説明会を実施

豪雨災害時のダム操作についての説明会が11月15日、町民センターで行われ町民40人が参加しました。東北電力の社員7名が対応し、只見川の増水状況とダム操作の経緯について説明しました。豪雨災害の影響で宮下地区の消雪用ポンプが故障したため、今年は消雪道路の水が出ないので、冬期間の除雪が問題となっています。

五十嵐七重さん（西方）が再話した絵本『おおどしのきやく』が福音館書店から出版されました。

七重さんが首都圏での「語りの会」に参加した事が出版のきっかけです。出版社の福音館書店の担当者が語りを聞いて、「七重さんの語りをぜひ絵本にしたい」という話になり、絵本が誕生しました。

七重さんは「手元に本が届いたとき、自分の語りのイメージと絵のイメージが良く合っていて、『ああいいなあ』と思いました。語りと絵の表現の方法は違いますが、同じ風景がよみがえってきて、それが

五十嵐七重さんの昔語りが絵本に



出版された絵本を手にする五十嵐 七重さん

嬉しかったです。実は絵本が出版されることはそんなに重大な事とは思っていませんでした。でも、奥会津に残っていたお話や方言が、全国の子どもたちに読んでもらえる事はとてもうれしいです。絵本を読んでもくれた人が語りを聞きに会津に来てくれるきっかけとなれば、なお嬉しいです。会津には他にも良いお話があるので、また絵本に出来たらいいですね」と話しました。

出版された絵本は本来、定期購読の絵本ですが、書店で注文すれば購入できるそうです。

うつくしいみやしたを撮ろう

四季薫る三島町みやした フォトコンテスト開催

宮下・荒屋敷地区では地区の景観づくりに取り組む一環としてフォトコンテストを開催し、地区の魅力を再発見するとともに、地区住民全体で美観運動に繋げようとしています。皆さんから素敵な「みやした」の写真をお待ちしております。

●募集内容

撮影場所は、三島町大字宮下及び桑ノ原字荒屋敷地区内の景観及び関連ある人物等との情景

●応募締切

平成 24 年 2 月 29 日㊥（当日必着）

●応募方法

郵送（四つ切・四つ切ワイドのプリント）、一人 5 点まで、作品 1 点につき一枚の応募票を必ず明記してください（応募票を自作する場合氏名、住所、電話番号、わかる範囲で撮影地、季節、作品コンセプトを明記）。

●応募／問い合わせ先

うつくしい【みやした】を撮ろうフォトコンテスト事務局

佐久間 宗一

三島町大字宮下字居平 53 ☎ 090（6256）8475

県地域支え合い体制づくり 助成事業で購入しました

大石田地区 除雪機と保管庫



大石田地区では、福島県地域支え合い体制づくり助成事業により、除雪機とその保管庫を購入しました。福島県地域支え合い体制づくり事業とは、高齢者や障がい者等の社会的弱者を、地域で見守り、支える体制を構築するため、県から市町村への補助や、市町村から民間事業者等へ補助をするものです。

これから本格的な冬を迎え、除雪作業を地域で支え合うために、機械の活躍が期待されます。

5 件の事業に町から補助金交付

平成 23 年度三島町地区支援事業補助金

平成 23 年度採択事業一覧

町では地区の課題を踏まえ、地域の特性を活かした魅力ある地区づくりを推進するために、三島町地区支援事業補助金を交付しています。今年度は 7 件の申請があり、審査の結果 5 件を採択し、それぞれ上限額の 50 万円の交付を決定しました。このうち 4 件は福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）の補助を受けており、県と町の補助金を活用した事業となっています。各事業の内容や補助金の申請方法などについては、下記までお問い合わせください。

役場 地域政策課 美しい村づくり班

☎（48）5533

新規 継続	申請者および事業者	総事業費 (円)	財源(円)		
			交付 決定額	他の 補助金	自己 資金等
継続	宮下地区（区長 諏訪義幸） 宮下地区まちづくり事業	2,520,000	500,000	県補助金 2,001,000	19,000
継続	早戸地区（区長 佐久間源一郎） 秘湯・早戸温泉を守り続けるコミュニティ環境整備事業	4,700,000	500,000	県補助金 3,760,000	440,000
継続	直売所「はねっこ」の会 （会長 飯塚浩市） 直売所「はねっこ」事業	4,970,500	500,000	県補助金 1,000,000	3,470,500
新規	間方地区（区長 二瓶勇毅） 間方地区活性化事業	1,983,500	500,000	県補助金 1,360,000	123,500
新規	滝谷地区（区長 目黒常廣） 「小館山観音」整備事業	744,975	500,000	0	244,975



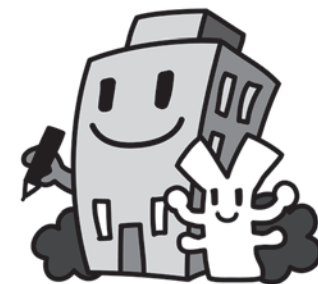
平成 24 年経済センサス - 活動調査 を実施します

経済センサス - 活動調査は、全産業分野の経済活動を同一時点で網羅的に把握する我が国唯一の調査で、全国すべての事業者を対象とした重要な統計調査です。

調査結果は、国の各種行政施策をはじめ、地域の産業振興や商店街の活性化などの地域行政のための基礎資料として利活用されます。また、調査の実施に当たっては、毎年回答いただいている工業統計調査を中止し、経済センサス - 活動調査の対象となる事業者の皆様の負担軽減を図るとともに、調査を効率的に実施します。

調査票は 12 月中旬以降、調査員が直接お届けします。
同封された提出用封筒にて、提出してください。町内すべての事業所が対象となりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

ビルくんとケイちゃん



経済センサス特設サイト URL:<http://www.stat.go.jp/data/e-census/campaign/index.htm>

総務省・福島県・三島町

宮下病院だより クリスマスコンサート 開催のお知らせ

宮下病院では、12月13日㊤にフルートによるクリスマスコンサートを開催します。フルートの音色による、なじみの曲や懐かしい曲など病院内に響き渡ります。ぜひ、コンサートに来て心地よい安らぎのひと時を味わってください。

毎年おなじみとなりました、フルートによるコンサートです。透き通った、やさしい音色をお楽しみ下さい。

- 日時
平成23年12月13日㊤
午前 10:00～ (病院玄関ホール)
午前 11:00～ (2階病棟階段踊り場)
- 演奏者 岩沢 麻実さん(フルート奏者)

なお、受付にリクエスト箱を設けていますので、聞いてみたい曲がありましたら、リクエストしてください。



ピロリ菌検査始めました

この度、宮下病院ではピロリ菌検査を始めました。胃がんや胃潰瘍などの原因となることが知られているピロリ菌の感染を尿素呼気テストにて判定いたします。採血や胃カメラの必要はありません。

- ・検査時間 20分程度
- ・検査費用 4,000円

(ただし、胃・十二指腸潰瘍で治療中の方、胃がんの内視鏡治療を受けた方は保険診療の適応となります)

※検査を希望される方は、事前に予約をお願いいたします。その他ご不明な点は、看護師へお気軽にお問い合わせください。

火災に気をつけて！

年末年始特別警戒

12月15日㊤～1月15日㊤

暖房器具の使用が多くなる時期です。次のことに注意して火災を防ぎましょう。

<4つのポイント>

- ①ストーブの上に洗濯ものを干さない
- ②点火したまま動かしたり、給油しない
- ③タコ足配線はしない
- ④コンロから目を離さない

三島町無火災記録 1,259日 ※10月31日現在

引き続き火災予防に努めましょう！

㊤会津坂下消防署三島出張所
☎(52) 3032

歳時記 萌の会

ギャラリーは皆顔見知り文化の日	諸井 まさ子	秋うらら松原湖畔の塩ラーメン	小柴 六進子
抜糸終え句心湧きし刈田風	片山 祐一	三坂山紅葉を共に六十余年	志田 たつの
傷跡の深き川筋鳥渡る	小柴 盛雄	一色に花嫁蕎麦の実のりかな	小柴 有美子
つくねんと更けゆく秋の音をきく	栗城 幸子	柿の実に大丈夫だねと声をかけ	小平 佳子
共に生く歩みゆるやか天高し	佐藤 朋良子		

三島の民話

第九話 六地藏様

掲載協力
鈴木 フミ子さん(松原)

昔むかし村外れにお爺さんとお婆さんがおったサ。
お爺さんはとつても働き者。朝早くから夜遅くまで笠や蓑をつくっておったそうじゃ。
ある日お爺さんは近所の村へと笠と蓑を持って売りに出かけたそうじゃ。途中で自分よりも六地藏様が頭からビショぬれになつておる。それに気づき、持って行った笠と蓑を着せて家に帰った。
「婆さんや、婆さんや。今日はゼニには一銭にもならず、あの雨なもんで六地藏様に着せたよ」と言うのと、

お婆さんも大喜びだったそうじゃ。
それから二三日後のこと「爺の家はどこだんべえ」「婆の家はどこだんべえ」「ヨイショ コラショ」表の方で呼んでおるので、二人はオツカナ声も出すこともできず、すくんでおったそうじゃ。
やれやれ夜明けになった。お爺さんが戸を開けると、それぞれ、米俵が山積み。
「婆さんや、婆さんや、早く早く」
と言って二人はただ手を合わせるばかりだった。これは地藏様がお礼として運んだので、二人は一生榮にくらしたそうじゃ。

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
㊤教育委員会 ☎(48) 5599



本のリクエスト募集中
読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会で検討し、選定された本を購入します。

キャベツくん

長 新太・文／絵
文研出版

キャベツくんと出会った、ブタヤマさん。とてもお腹がすいていたブタヤマさん、キャベツくんを食べようとしますが……。読んでいううちに優しい気持ちになります。



こども向け

大人向け

十津川警部「子守唄殺人事件」

西村 京太郎・著者
祥伝社

銀座のクラブのママが殺された。現場には奇妙な遺留品が残されていた。どんどんと引き込まれるように読めるミステリー作品です。



これからの行事予定 town schedule

12月13日(火)

おばあちゃんの味

12月22日(木)

三島小学校・三島中学校終業式

町営スキー場開き

1月4日(水)

名刺交換会・自治功労賞表彰式

1月6日(金)

消防出初式

地域ふれあいサロン

三島町社会福祉協議会

川井友愛サロン

12月8日(土) 10:00～ 川井集会所

町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

ご寄附

ありがとうございました

町へのご寄附

全国観光地所在町村協議会 様

相羽 史朗 様

東北電力株式会社 様

三島町商工会女性部 様

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

金子 喬 様(宮下)

齋藤 公朗 様(宮下)

海老名 英 機 様(松原)

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

町民課 ☎ (48) 5565

4カ月児健診

12月13日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

足腰げんき教室

◎室内運動編

12月13日(火) 13:30～ 町民センター

◎水中運動編

12月22日(木) 10:00～ 町民センター集合
リステル猪苗代

機能訓練会

12月7日(水) 14:00～ 福寿草

心の健康相談(※事前申し込み必要)

12月19日(月) 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。

「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



町 地域政策課
美しい村づくり班
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では10月中、刑法犯の発生はありませんでした。

S(セキュリティ)メールの活用!?

1.S(セキュリティ)メールとは

福島県内で発生した声かけ事案・性犯罪、振り込め詐欺、強盗、ひったくり等の最新の犯罪情報や防犯情報を希望者の携帯電話やパソコンにメールで発信するものです。(捜査のため一部公表を差し控える場合もあります)

2.登録及び解除方法

県警本部生活安全企画安全・安心町づくり推進室のメールアドレス(fp-bohan01@police.pref.fukushima.jp)に携帯電話から空メールを送信すると登録されます。メールの本文に「登録解除」と入力して送信すると登録が解除されます。

3.登録は無料

ただし、通信料は自己負担(メール受信1件につき約2円)

4.発信時間

平日の午前8時～午後6時までの間に発信されます。

街頭犯罪発生状況(1～10月)

区分	管内	三島町
空き巣狙い	6	
忍び込み	1	
事務所荒らし		
出店荒らし	4	3
自動車盗	3	
オートバイ盗		
自転車盗	13	
自販機狙い	2	
車上狙い	8	1
部品狙い	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	38	4
全刑法犯	88	10

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

最低賃金は658円

厚生労働省 福島労働局

福島県の最低賃金が平成23年11月2日に改定され、時間額658円になりました。11月2日以降は最低賃金法の規定により、改正後の最低賃金で労働者を雇用しなければなりません。同額未満の賃金で雇用契約を締結した場合にはその契約は無効となります。使用者も労働者も最低賃金を再度確認してください。

※最低賃金制度とは最低賃金法に基づき国が賃金の最低額を定め、使用者はその最低賃金以上を支払わなければならない制度です。

生活排水対策指導員等

講習会のご案内

福島県水・大気環境課

家庭から出される水の汚れは、川などを汚す原因となりますが、日常生活のちょっとした心がけや工夫により改善することができます。皆さんも一緒に水の汚れについて考えてみませんか。

●日時 1月24日(火) 13:30～15:30

●場所 会津地方振興局新館2階

大会議室(会津若松市追手町7-5)

●申込方法 1月16日(月)までに所属団体名(個人参加も歓迎)・出席者名・連絡先・参加人数をお知らせください。

●問い合わせ／申し込み先

福島県庁・大気環境課

☎ 024(521)7258

FAX 024(521)7927

三島町の人口と世帯

(11月1日現在)

人口	1,987	-2	出生	0
男	949	+1	死亡	1
女	1,038	-3	転入	2
世帯	836	0	転出	3

※住民基本台帳による数値です。

多重債務者
相談窓口を開設しました

東北財務局 福島財務事務所

福島財務事務所では返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。抱えている借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料ですでお気軽にご相談ください。また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む「ヤミ金融」には十分にご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。

●相談窓口

福島財務事務所 理財課

福島市材木町13-2

●受付時間

月曜～金曜(祝祭日、年末年始除く)

8:30～17:15

●電話

☎ 024(533)0064(多重債務相談窓口)

☎ 024(535)0303(福島財務局 理財課)

債務整理には
4つの方法があります

①任意整理

裁判所を通さず、債権者と弁護士や司法書士などの間で返済方法を和解する。

②特定調停

裁判所が債権者と債務者の間に立って利害関係を調整する。

③個人再生

裁判所が認可した再生計画に基づき債務を返済する。

④自己破産

裁判所を通じて債務の支払いを免責してもらう。

困った事があれば、まず多重債務相談窓口にご相談ください。

☎ 024(533)0064(多重債務相談窓口)



1

三島小5・6年生 カタクリ通学合宿

11月9日～11月11日

合宿のめあて

- 自分で考え行動すること
- 家でも実践すること。

きりの子隊カタクリ通学合宿は11月9日から11日まで森の校舎カタクリで行われました。三島小の3、6年生を対象に参加者を募り、今回は5年生・6年生の希望者が参加しました。この通学合宿は公民館が主催し、カタクリに宿泊しながら、学校へ通学するものです。具合が悪くなった、急用ができた場合を除き自宅には帰れません。児童たちは集団で共同生活する中で、身の回りの事を自分で考え行動し、強い心身に付ける事、そして自宅でも実践することを目的と

し、3日間の合宿を体験しました。児童たちは、自分のお弁当箱を自分で洗い、夕食の準備の手伝いや、ベッドメイキングなど日頃家の人にしてもらっている事を友達と協力しながら、自分たちで行いました。合宿最後の反省会では、児童から「みんなで協力して生活することを学べて良かった」「みんなで作ったご飯はおいしかった」という感想がありがりました。3日間でしたが、親元を離れて共同生活することで、児童たちはさらに成長したようです。

1 合宿最終日、カタクリ会の皆さんと記念撮影 2 自分たちのお弁当は自分たちで洗いました。児童たちからは「お母さんのお弁当が分かった」という感想が出ました 3 2日目の夕食は煮込みハンバーグ。みんなで協力して作った出来は格別だったようです 4 ベットのシーツがけも子どもたちで行いました。家でも実践してください



4



3



2

新年の準備が進む

松原地区でしめ縄作り

- 1 フラ打ちをする阿部通利さん（写真右）と佐々木邦雄さん（写真左）
- 2 完成したしめ縄は全長8mにもなる
- 3 しめ縄作りのベテラン杉本一郎さん。今年で14年目
- 4 神社総代の加藤秀雄さん



1

しめ縄作りは松原地区で11月24日に行われ、地区の有志の方4人が集まりました。朝8時から加藤秀雄さんの車庫で作業が始まり、約4時間ほどで完成しました。このしめ縄は12月20日に松原の春日神社に奉納され、古いものと交換されます。今年も残りわずかとなりました。新年に向けて、着々と準備が整っています。



2



4



3

虫の命に感謝 自然に感謝

早戸地区の虫供養

早戸地区の年中行事「虫供養」は11月10日に行われ、地区住民の皆さんなど約20人が参加しました。この行事は駆除した虫の霊を慰めるもので、毎年11月10日に行われています。集落のはずれにある木彫りの虫供養塔に御札を掲げ、花やお菓子などをお供えし、線香をあげて参拝しました。木彫りの虫供養塔は平成15年に建てられたものです。それ以前は傍らの桜の古木に参拝していたそうです。



1

1 供養塔に御札を掲げ、線香をあげ参拝した 2 虫供養に参加した早戸地区の皆さん



2

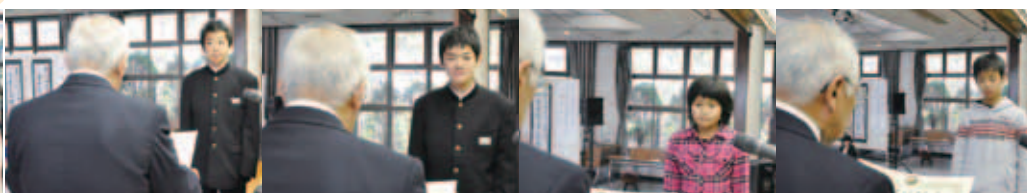
つなごう

交通安全運動標語コンクール表彰



酒井 康太 くん 細堀 玄 くん 五十嵐 忠馬 くん 角田 雄大 くん 大竹 彩花 さん 馬場 一暢 くん

三島町社会を明るくする運動標語コンクール表彰



ありがとう
言って言われて
良い気持ち
身につけよう
やさしい言葉と
感謝の気持ち
やさしさが
地域にあふれる
思いやり
「ありがとう」
心をつなぐ
愛言葉
カチッとね
しっかりしめたよ
ぼくのせき
交通量
少ないけれども
自転車左

人数が減っても 変わらない伝統を 三島小まつり



1年生
「くじらぐも」



三島小まつりは11月3日三島小体育館で行われ、多くの方が参加しました。「より多くの方に見てもらいたい」「小学校も町に参画したい」という目的で今年は、三島町文化祭と同じ日程で行われました。

1年生のはじめの言葉で発表が始まり、全校合唱では全学年の児童と先生が大きな声で元気な歌声を披露しました。その後、各学年の児童たちが日頃、練習を重ねてきた劇や音楽、学習発表を披露しました。

佐藤新治校長は「人や人数が変わったとしても変わらない伝統を作ることが大切です。これからも皆さんの姿勢を受け継いでください」と話しました。

2年生
「音楽でつづろう」



3年生
「ちいちゃんのかげおくり」



4年生
「くり太郎」



5年生
「会津ヒストリア」



6年生
「西遊記」



みしまの和

三島町文化祭



三島中学生による混声合唱「砂丘」

生涯学習文化表彰

渡辺 梨花 さん (写真右)
第41回世界児童画展 特選

坂内 悠吏 くん (写真左)
第31回FCT児童画展 福島県教育委員会教育長賞



三島町文化祭は11月3日、町民センターで行われました。生涯学習文化表彰では、第41回世界児童画展で特選を受賞した渡辺梨花さん（大石田）と第31回FCT児童画展で福島県教育委員会教育長賞を受賞した坂内悠吏くん（西方）が表彰されました。また、社会を明るくする運動標語コンクールの表彰式と交通安全運動標語コンクールの表彰式が行われ、特選を受賞した6人の小中学生が表彰されました。

続いて「未来へ伝える手紙」の發送セレモニーが行われました。その後、三島中学生による合唱や一般参加者による演芸会が行われ、日ごろの練習の成果を披露しました。

会場には書、絵画、写真、生け花、俳句など町民の作品が多数展示されたほか、宮下婦人会により食堂が運営されました。商工会婦人部によるバザーや、語り部サークル「ちゃんちゃんこ」の皆さんによる語りも行われました。役場前では農産物や四倉の方々、地鶏の焼き鳥などが販売され、会場を盛り上げました。



4



3



2



1

1 町民センターで行われたバザーの様子 2 語り部サークル「ちゃんちゃんこ」五十嵐七重さんによる語り 3 スポーツ民謡を披露した西方スポーツ民謡クラブの皆さん 4 藤間会の栗城和枝さんによる舞踊「鶴ヶ城」 5 琴桐会の皆さんによる大正琴 6 三島宝生会の皆さんによる謡曲「田村」 7 カラオケを披露した板橋久雄さん 8 諏訪義幸さん 9 小林美保さん 10 中丸一雄さん 11 栗城清子さん 12 佐久間定雄さん 13 小松ユミ子さん 14 五十嵐健郎さん



6



5



14

13

12

11

10

9

8

7



立志式

三島中 2 年生 8 人、志を立て大人への心構えを示す

「大空に舞う蝶」

長谷川 平くん



「まわりの人に
したわれる
生き方をする」

酒井 康太くん



「浅い川も
深く渡れ」

五十嵐 基くん



「高邁な精神」

長谷川 滉太くん



己れに克つ

「過去を振り返らず
前を向き、夢を追う」

五十嵐 豊香さん



「どんな壁でも
乗り越える」

本名 将くん



「己の力を発揮し、
充実した人生を送る」

二瓶 勇くん



「意志を貫き
目標へ立ち向かう」

板橋 健太くん



(原文のまま)

将来どのような人間になるか分かりませんが、これからは自分の中にある「弱い気持ち」に負けず、常に克己心を掲げ、よりよい自分に変わっていきけるように、クラス全員で努めていきます。

将来どのような人間になるか分かりませんが、これからは自分の中にある「弱い気持ち」に負けず、常に克己心を掲げ、よりよい自分に変わっていきけるように、クラス全員で努めていきます。

人間は、辛いことから逃れようとして、投げ出そうとしたりして、楽な道を進んでしまうことがあると思います。それは自分の中にある「弱い気持ち」に負けてしまっただけだと思います。今、だからとした楽な生活をしていると、将来立派な人間にはなりません。だから、将来の善し悪しを決めるのは自分との戦いだと思っています。「弱い気持ち」に負けて、困難から逃げてばかりいては、何でも中途半端になり、責任を果たせなくなります。しかし、どんな困難にも立ち向かい、自分に厳しくして物事をこなしていけば、おのずと成長していくと思います。また、常に克己心を持ち努力すれば、よりよい自分を築きあげることができると 생각합니다。二年生は八人という少人数ですが、それぞれが良い個性を持っていますし、とても積極的です。このような長所を最大限に生かし、よりよい人間になれるようにしていきたいと思っています。今の自分で満足せず目標を持ってしっかりと努力していきたいです。

人間は、辛いことから逃れようとして、投げ出そうとしたりして、楽な道を進んでしまうことがあると思います。それは自分の中にある「弱い気持ち」に負けてしまっただけだと思います。今、だからとした楽な生活をしていると、将来立派な人間にはなりません。だから、将来の善し悪しを決めるのは自分との戦いだと思っています。「弱い気持ち」に負けて、困難から逃げてばかりいては、何でも中途半端になり、責任を果たせなくなります。しかし、どんな困難にも立ち向かい、自分に厳しくして物事をこなしていけば、おのずと成長していくと思います。また、常に克己心を持ち努力すれば、よりよい自分を築きあげることができると 생각합니다。二年生は八人という少人数ですが、それぞれが良い個性を持っていますし、とても積極的です。このような長所を最大限に生かし、よりよい人間になれるようにしていきたいと思っています。今の自分で満足せず目標を持ってしっかりと努力していきたいです。

クラスの立志の言葉
「己れに克つ」

代表 本名将くん